

編集後記

最近、学者による多数決の結果、冥王星が惑星ではなくなる。という、ショッキングなニュースがあった。子どもの頃から星や惑星が大好きで、いつか10番目の惑星が見つかるだろう、と信じていた私にとっては感慨ひとしおだった（おそらく皆さんの多くも）。・・・思えば、当時は、観測の発達で、土星の専売特許であった輪が天王星に5本見つかり、さらにボイジャーによって木星にも海王星にも輪があることが発見されるなど、これまでの常識が次々に塗り替えられていくのには、興奮やまなかつた。

核融合の世界で、このような常識が更新され、覆された歴史といえば、トカマク、Hモード、高速点火等・・・ただ、世間一般にはいま一つ、「何がすごいのか」ピンとこないのが実情であろう。子どもの本や義務教育教科書に「プラズマ」が載ってないことも一因ではないだろうか。

本学会誌の特集記事は、プラズマ研究者が自分と専門外のプラズマ領域の情報を得るものとして、大変有用であり、歴代の執筆者、編集者の創意工夫・努力の賜であろう。

次は、さらに一歩進んで、一般への啓蒙、できれば義務教育教科書への提言を目標にしてはどうだろうか。

その障害の一つに“物質第4の状態とも言われる”，という説明から脱却できない事情がありそうな気がする。なぜ，“である”でないのか？「物質には4つめの状態があって、プラズマっていうらしい。」「どこにあるの？」「蛍光灯とかネオンサインとか」「そこら中にあるんじゃない、ウンチクにもならないなあ・・・」って会話が聞こえてきそうである。「子どもの頃から知っているプラズマ状態をうまく使ったテレビができた、エネルギーを取りだすことに成功した」のような世間話が聞きたいものである。その一方、我々も「電解液中のイオンもプラズマだ」「固体中の電子もプラズマだ」・・・と思わずやってしまう。これがある種の混乱を招いて“とも言われる”止まりになってはいないだろうか。冥王星問題を少し薬にして、「プラズマ=物質第4の状態」の定義、用法を見直して、世間に提示してもいいのかもしれない・・・と思った。

(門 信一郎)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	藤原 正巳	松田慎三郎	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 尾崎 章 (財務委員長) 佐野 史道 畑山 明聖 森 雅博 (広報委員長)	今井 剛 際本 泰士 (広告委員長) 田中 和夫 (編集委員長) 浜口 智志 (出版委員長) 吉田 善章			奥野 健二 (プログラム委員長) 佐藤浩之助 (企画委員長) 畠山 力三 本島 修	
監 事	長谷川 満	藤山 寛				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫 (阪大)

エディター 関子秀樹(九大), 関 昌弘(RIST), 田中雅廉(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 行村 建(同志社大)

編集委員 荒巻光利(名大院工), 飯塚 哲(東北大院工), 石黒静児(核融合研), 岩尾 徹(武蔵工大), 岩切宏友(九大応力研), 上田良夫(阪大院工), 越智義浩(原子力機構), 片沼伊佐夫(筑波大プラズマ), 門 信一郎(東大高温プラズマ), 加藤太治(核融合研), 北島純男(東北大院工), 北野勝久(阪大院工), 小口治久(産総研), 佐伯紘一(静大理), 重森啓介(阪大レーザー研), 洲 亘(原子力機構), 妹尾和威(核融合研), 高橋栄一(産総研), 高山有道(核融合研), 谷口和成(京都教育大), 永岡賢一(核融合研), 長崎百伸(京大エネ理研), 野崎智洋(東工大院), 平松美根男(名城大理工), 増崎 貴(核融合研), 山内有二(北大院工), 山本 巧(原子力機構)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第82巻第12号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp

印刷 株式会社荒川印刷

2006年(平成18年)12月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。